

## 水温む池で、オタマジャクシが泳ぎだす



まさに「水温む」の陽気だった3月13日、広町緑地内の池や田んぼで、ヤマアカガエルの卵からオタマジャクシが孵化し、春の日を浴びて泳ぎだした。

孵化した数が多かったのが、西鎌倉側入り口に近いハス田跡。ここには9つの卵塊があったが、ほとんどが孵化した。ただ、まだ小さいので、泳ぐ距離はわずかで、多くは朽ちて沈んだ枝などに取りついて、ときどき尾を動かしている＝写真左。

ツクシ田んぼ北側の水路に架かる橋下にあった2卵塊も、12日から孵化が始まり、オタマジャクシがときおり、橋の下から日溜まりに出て来ている。

田んぼ脇の古い貯め池には、最も多い15卵塊があるが、日陰で水温が低いせいか、まだ孵化していない。

御所谷上流域の通称カエル池には、ヒキガエルが例年通り、紐状の卵をたくさん産んでいる。これがオタマジャクシになるのは、2～3週間、先になりそうだ。